

平成 27 年度「オリンピック・パラリンピック教育モデル推進校」 事業実施報告書

- I スポーツへの誘い 自己肯定感の醸成
 II 障害者や高齢者への理解 共生社会の形成
 III スポーツへの関心や競技力向上 スポーツボランティアへの参画
 IV オリンピック・パラリンピックに向けた京都の伝統や文化等の発信
 V 児童生徒オリンピック、パラリンピックを通じた国際理解教育の推進

実践事業	【 Ⅱ 】	I～Vを記入して下さい。		
学校名	京都市立 日吉ヶ丘 高等学校	全校生徒数	712名	
実践学年、部、講座等	第 3 学年 (男子 84名・女子150名)			
目 標 (ねらい)	オリビズムの観点(○印) <重複可>	友情 ()	卓越 ()	尊重 (○)
	①車いす体験や交流試合，選手たちとの対話を通して障がい者に対する理解を深め，人権意識を高めて，自分の生き方を考える機会とする。 ②社会がどう変われば障がいのある人々が住みやすくなるのかを考える機会とする。 ③車いすバスケットボール競技を通して，2020年の東京パラリンピックへの関心を高める。			
実践内容	1 事前学習 (1)11月25日(水)6限のLHRで，アンケート(当日参加していただく車いすバスケットの選手の方に事前送付するため)等を実施するとともに，当日の交流試合等に参加する代表生徒を選出。 (2)12月2日(水)6限のLHRで，車いすバスケットを取り上げたテレビ番組「情熱大陸」のDVDを事前学習として鑑賞。 2 事業当日 (1)12月15日(火)3限・4限(10:45～12:10)に実施。内容は ア 校長挨拶・趣旨説明・選手紹介， イ 車いすバスケットボールの模擬演技， ウ 生徒体験(各クラスからの代表選手)， エ 選手講話(障害者となった経緯，スポーツをする意義など)， オ 質疑応答， カ まとめ 3 事後学習 (1)12月15日(火)の本事業終了後，感想文・アンケートを作成。			
実施上の留意点等	(1)自家用車で来校された選手の方の車の乗り降りや校内での移動など様々な面において，各クラスから選出した生徒が介助係として担当する。			

	<p>(2)車いすバスケットを実際に体験する機会を持つとともに、クラスごとに分かれて選手から話を聞いたり交流する時間を確保する。直に話をして考えたり共感したりする機会が重要と考える。</p>
<p>主な成果 (分析結果)</p>	<p>事後に作成した感想文などから、障がい者に対する理解がより深まり、人権意識の高まり、相手に対する尊重の心の涵養に大きな効果があったとともに、今後の自分の生き方を考える機会となったことが伺える。また、車いすバスケットだけでなく、広く障がい者スポーツ全般に対する関心が深まり、将来の東京パラリンピックに対する興味や期待感の高揚にもつながった。以下は生徒の感想文の抜粋である。</p> <p>(1)車いすバスケットの模範演技・競技体験について</p> <ul style="list-style-type: none"> 正直、障害であることをハンデとせず、そこらへんの人と同じように楽しんで、熱く誠実にプレーされる姿に感無量です。私は傍観者であることに後悔しています。 車椅子が必要な状態になってしまって嫌って思うのに、前向きになってバスケットを始めることがほんとにすごい、心が強いと思った。尊敬です。自分も前向きに何事にもチャレンジして頑張っていきたいと思った。 はじめは、あまり興味もなくて、めんどくさいと内心思っていました。実際に車椅子バスケットを見学させてもらっていつの間にか声を出して応援してしまうほどおもしろかったです。 <p>(2)選手からの講話と交流について</p> <ul style="list-style-type: none"> 私たちが想像できないような悲しみや悩みを持ってらっしゃるでしょうが、みなさんはとっても明るくて、スポーツをすることは人を救うのだなと思った。 ドラマとかテレビで見たことはあったけど実際に目の前で見たり話をしたりするのは初めてだったのでいい経験が出来ました。お話を聞いて、私たちがもっと周りに目を配って、車椅子でも住みやすい環境にしていきたいと思いました。 障害を負ってから、車いすバスケットをしようと思ったきっかけは何か。車いすバスケットをして変わったことは何か。話を聞いて、もし自分だったら立ち直れるかなと思いました。外出もしたくなくなる。でも話をしてくださった方は自分から義足を見えるようにして近所を歩かれました。人目を怖がらず、ありのままの自分を見せられているのです。その勇気がほんとにすごい。これから障害を持っておられる方を見かけたら、手伝えることを考えて積極的に声をかけていきたい。
<p>主な課題等</p>	<p>特になし。次年度以降も継続していきたい。</p>

